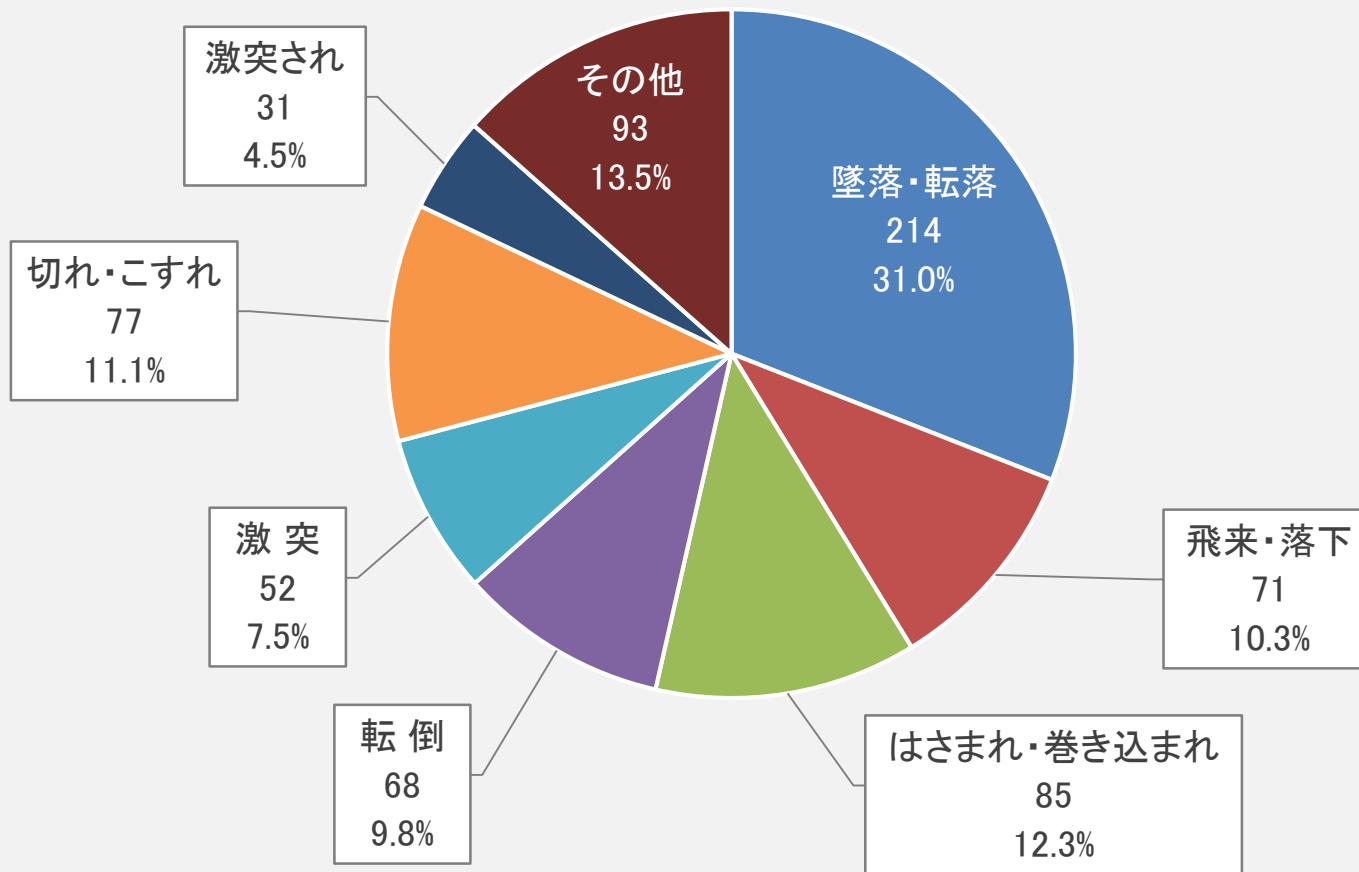


	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
製造業	2,060	2,037	2,027	1,902	1,904	1,938	1,986	1,895	1,889	2,021
建設業	627	711	712	668	643	674	673	645	723	691
陸上貨物	905	913	876	904	847	959	1,024	1,056	1,078	1,011
商業	911	862	1,068	886	906	1,040	1,145	1,048	1,145	1,245
全産業	6,392	6,534	6,703	6,349	6,360	6,749	7,117	6,986	7,461	7,989
(コロナ除外)									(7,276)	(7,459)

建設業における事故の型別の発生状況

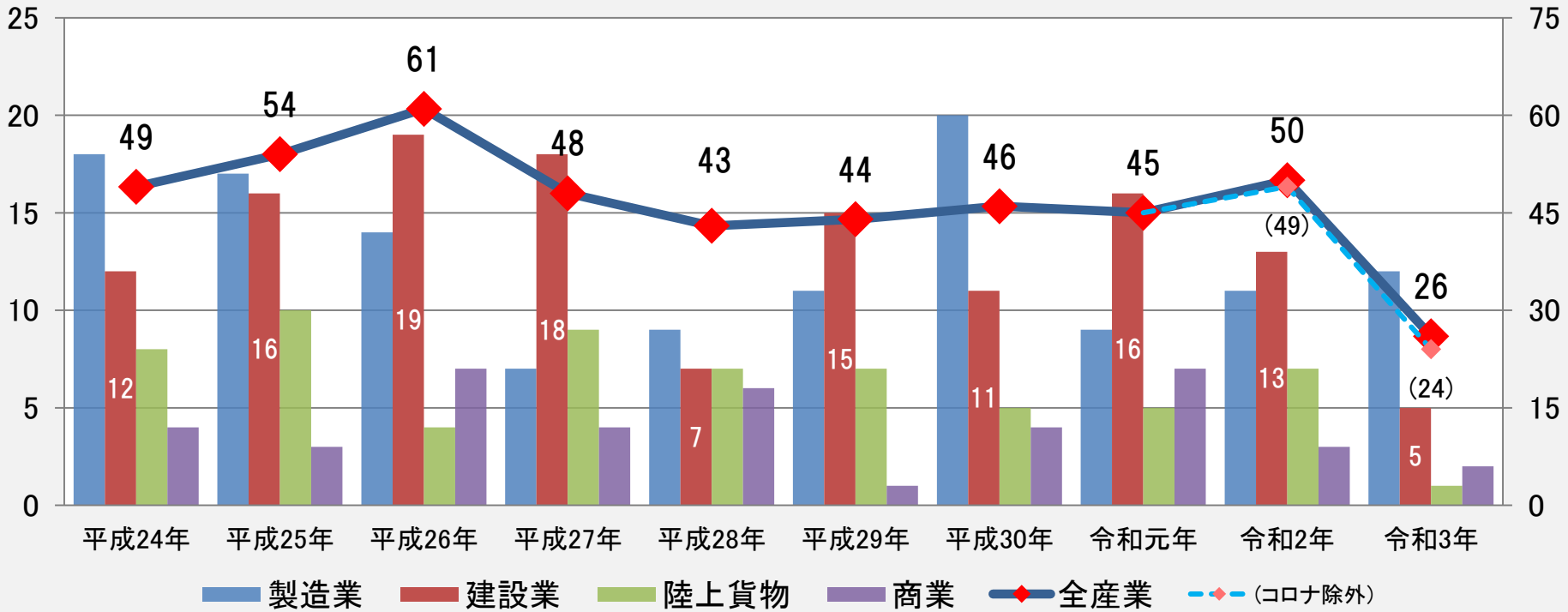


事故の型別	墜落・転落	飛来・落下	はさまれ・巻き込まれ	転倒	激突	切れ・こすれ	激突され	その他	合計
令和3年	214 ↑	71 ↓↓	85 ↓	68 ↑	52 ↓	77 ↑↑	31 ↓	93 ↓↓	691 ↓
令和2年	194	95	93	62	56	54	39	130	723

全産業以外
(人)

労働災害による死亡数の発生状況（全業種、建設業）

全産業
(人)



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
製造業	18	17	14	7	9	11	20	9	11	12
建設業	12	16	19	18	7	15	11	16	13	5
陸上貨物	8	10	4	9	7	7	5	5	7	1
商業	4	3	7	4	6	1	4	7	3	2
全産業	49	54	61	48	43	44	46	45	50	26
(コロナ除外)									(49)	(24)

単位:人

建設業における死亡災害事例

1. 墜落・転落①

2階建て家屋の屋根リフォーム作業中、高さ約7mの屋根上から地面に墜落した。

墜落制止用器具の使用などの墜落防止措置は無かった。

2. 墜落・転落②

屋根設置工事で、高さ約5mの屋根上で屋根材端部の切断のため、マーキング作業をしていた際に墜落した。

3. 墜落・転落③

住宅の外壁塗装工事後に、足場解体のため屋根上でシート外し作業をしていた被災者が屋根端から墜落した。

屋根上で転倒し、そのまま転落したとみられる。

4. 墜落・転落④

工場建物解体工事現場でスレート屋根の解体作業中、高さ約6mの屋根上から墜落した。屋根に開けた穴から廃材を地面に落とす作業をしている際に、誤って穴に落ちたとみられる。

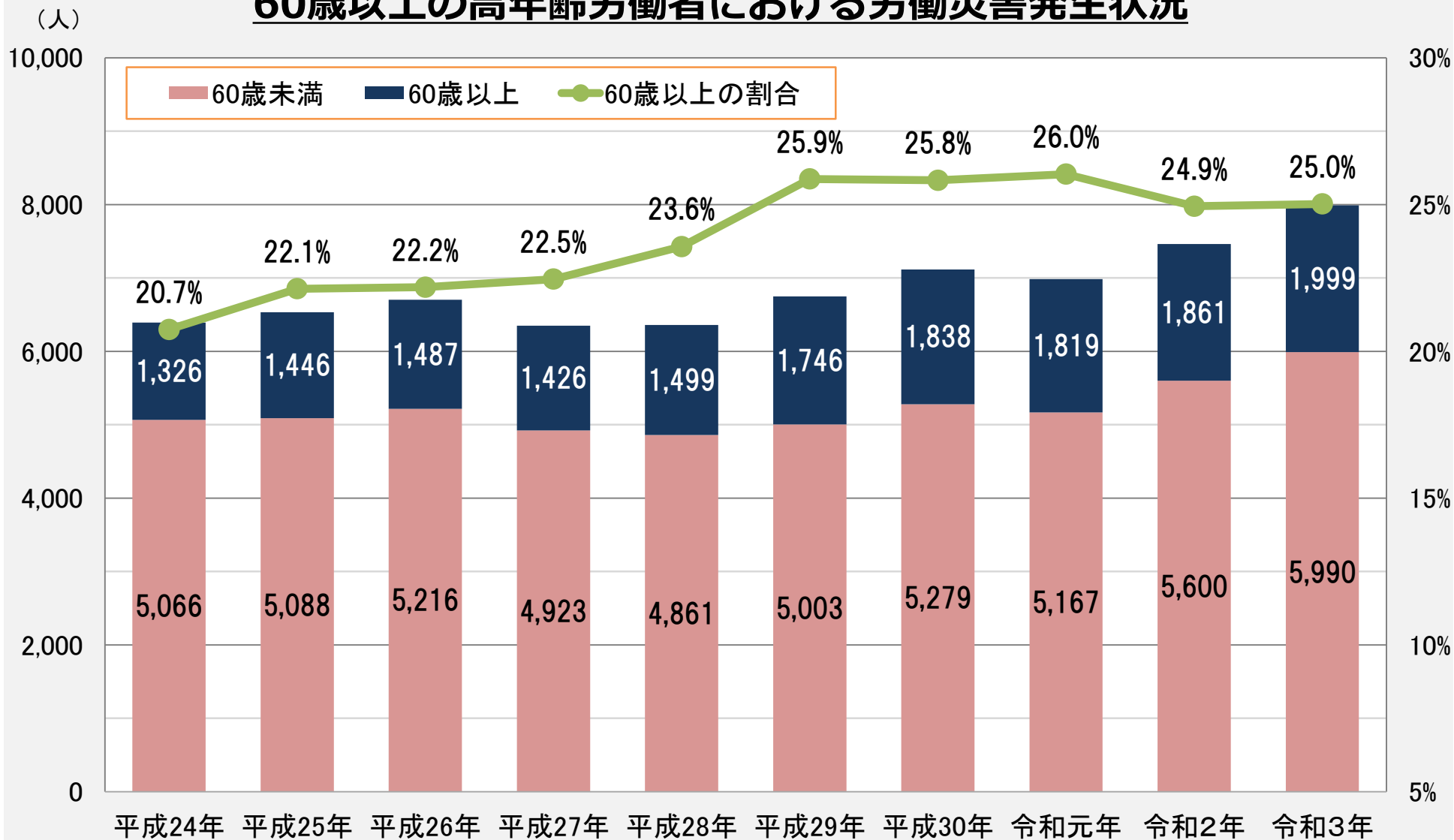
歩み板や防網等は設けられておらず、墜落制止用器具も使用していなかった。

5. 崩壊・倒壊

空地となっていた土地を地盤改良のため掘削していたところ、過去の建築物のPHC杭が発見されたが、杭を途中まで掘り出した状態で掘削を継続した。

その後、杭の付近で掘削作業を行っていたところ、長さ約4mの杭が倒壊し小型ドラグショベルの運転席に激突した。

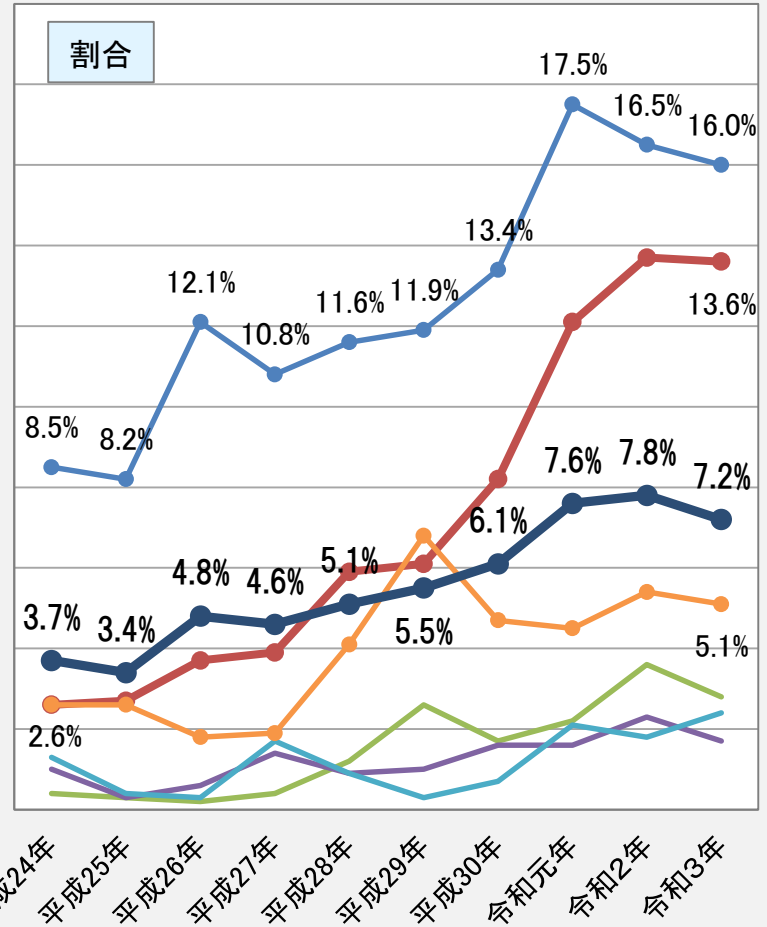
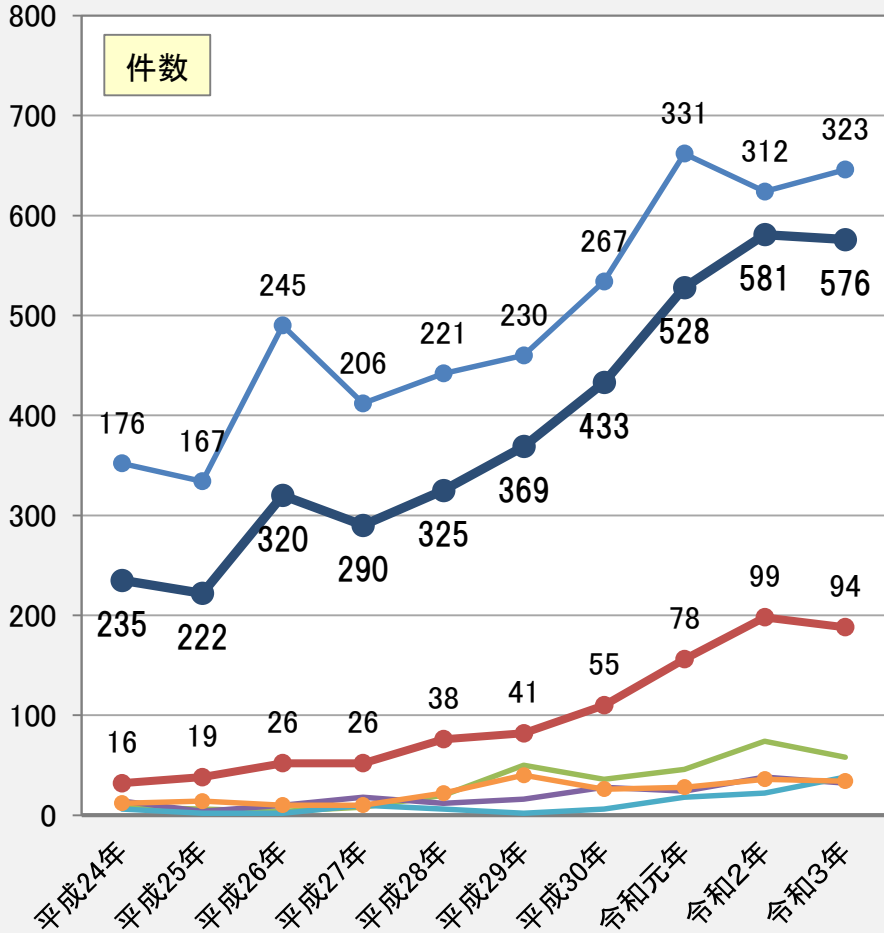
60歳以上の高年齢労働者における労働災害発生状況



外国人労働者の労働災害発生状況

(全産業)

(各業種)



●全産業 ●製造業 ●建設業 ●運輸交通業 ●小売業 ●社会福祉 ●飲食店